

統括防火管理〔該当・非該当〕

年 月 日作成

## 第1 目的及びその適用範囲等

### 1 目的

この計画は、消防法第8条 \_\_\_\_\_ に基づき、 \_\_\_\_\_ の防火管理についての必要事項を定め、火災、地震、その他の災害の予防と人命の安全、被害の軽減を図ることを目的とする。

### 2 適用範囲

(1) この計画に定めた事項については、次の部分及び者に適用し、守らなければならない。

ア 当該管理権原の及ぶ範囲は \_\_\_\_\_ 部分とする。

イ \_\_\_\_\_ に勤務し、出入りする全ての者。

ウ \_\_\_\_\_

(2) その他

\_\_\_\_\_

### 3 防火管理業務の一部委託について〔 該当・非該当 〕

(1) 委託者からの指揮命令

委託を受けて防火管理業務に従事する者は、この計画に定めるところにより、管理権原者・防火管理者・自衛消防隊長等の指示・指揮命令の下に適正に業務を実施する。

(2) 委託者への報告

受託者は、受託した防火管理業務について、定期的に防火管理者に報告する。

(3) 防火管理業務の委託状況

別表10「防火管理業務の一部委託状況表」のとおり。

## 第2 管理権原者及び防火管理者の業務と権限

### 1 管理権原者

- (1) 管理権原者は、\_\_\_\_\_の防火管理業務について、全ての責任を持つものとする。
- (2) 管理権原者は、管理的又は監督的な立場にあり、かつ、防火管理業務を適正に遂行できる権限を持つ者を防火管理者として選任して、防火管理業務を行わせなければならない。
- (3) 管理権原者は、防火管理者が消防計画を作成（変更）する場合、必要な指示を与えなければならない。
- (4) 管理権原者は、防火上の建物構造の不備や消防用設備等・特殊消防用設備等の不備・欠陥が発見された場合は、速やかに改修しなければならない。

---

---

---

---

### 2 防火管理者

防火管理者は、次の業務を行う。

- (1) 消防計画の作成（変更）
- (2) 消火、通報、避難誘導などの訓練の実施
- (3) 火災予防上の自主検査の実施と監督

次の項目を実施し、不備・欠陥箇所がある場合は、改修促進を図る。

- ア 建物 \_\_\_\_\_
- イ 防火施設 \_\_\_\_\_
- ウ 避難施設 \_\_\_\_\_
- エ 電気設備 \_\_\_\_\_
- オ 危険物施設 \_\_\_\_\_
- カ 火気を使用する設備器具（以下「火気使用設備等」という。）

キ 消防用設備等・特殊消防用設備等 \_\_\_\_\_

- (4) 防火対象物の法定点検の立会い
- (5) 消防用設備等・特殊消防用設備等の法定点検・整備及び立会い
- (6) 改装工事など工事中の立会い及び安全対策の策定
- (7) 火気の使用、取扱いの指導、監督
- (8) 収容人員の適正管理



### 第3 消防機関との連絡等

#### 1 消防機関へ報告、連絡する事項

種 別	届出等の時期	届出者等
(1) 防火管理者選任 (解任)届出	防火管理者を定めたとき、又はこれを解任したとき。	管理権原者
(2) 消防計画作成(変 更)届出	消防計画を作成したとき、又は次の事項を変更したとき。 ア 管理権原者又は防火管理者の変更。 イ 自衛消防隊の大幅な変更。 ウ 用途の変更、増築、改築、模様替えによる消防用設備等・特殊消防用設備等の点検・整備、避難施設の維持管理及び防火上の構造の維持管理に関する事項の変更。 エ 防火管理業務の一部委託に関する事項の変更。	防火管理者
(3) 訓練実施の通報	自衛消防訓練を実施する前。	防火管理者
(4) 消防用設備等・特 殊消防用設備等点検 結果報告	_____に1回。(総合点検終了後の消防用設備等・特殊消防用設備等点検結果報告書)	防火管理者の確認を受けた後に報告する。
(5) 防火対象物定期点 検結果報告	_____に1回	管理権原者
(6) その他  _____ _____ _____	_____ _____ _____	_____

#### 2 防火管理維持台帳の作成、整備及び保管

- (1) 管理権原者は、消防機関へ報告した書類及び防火管理業務に必要な書類等をこの消防計画とともに取りまとめて、防火管理維持台帳を作成し、整備し、保管する。
- (2) 転売等により管理権原者が変更となる場合は、防火管理維持台帳のうち竣工からの建築関係及び消防用設備等・特殊消防用設備等に関する届出書類や図面等の関係書類を確実に受け渡すものとする。

## 第4 火災予防上の点検・検査

### 1 日常の火災予防

- (1) \_\_\_\_\_が行う日常の任務は、別表1「日常の火災予防の担当者と日常の注意事項」のとおりとする。
- (2) 別表1は \_\_\_\_\_ に配付し、さらに休憩室など見やすい場所に掲示する。
- (3) その他

---

---

---

---

---

### 2 自主的に行う検査・点検

#### (1) 火災予防上の自主検査

自主検査は、日常的に行う検査と定期的に行う検査に分けて行う。

ア 日常的に行う検査は、別表2『自主検査チェック表(日常)「火気関係」』及び別表3『自主検査チェック表(日常)「閉鎖障害等」』に基づき、 \_\_\_\_\_ がチェックする。

(ア) 「火気関係」のチェックは \_\_\_\_\_ に行う。

(イ) 「閉鎖障害等」のチェックは \_\_\_\_\_ 行う。

イ 定期的に行う検査は、別表4「自主検査チェック表(定期)」に基づき、 \_\_\_\_\_ がチェックする。

実施時期は、 \_\_\_\_\_ とする。

ウ その他

---

---

---

---

#### (2) 消防用設備等・特殊消防用設備等の自主点検

消防用設備等・特殊消防用設備等の法定点検のほかに、自主点検を実施する。

ア 自主点検は、別表5「消防用設備等・特殊消防用設備等自主点検チェック表」に基づき、 \_\_\_\_\_ がチェックする。

イ 実施時期は、 \_\_\_\_\_ とする。

### 3 防火対象物及び消防用設備等・特殊消防用設備等の法定点検

- (1) 防火対象物の法定点検は、\_\_\_\_\_を行う。
- (2) 消防用設備等・特殊消防用設備等の法定点検は、\_\_\_\_\_別表6により行う。
- (3) 防火管理者は、防火対象物及び消防用設備等・特殊消防用設備等の点検実施時に立ち会うものとする。
- (4) その他

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

### 4 報告等

- (1) 自主検査、自主点検及び法定点検の実施者は、定期的に防火管理者に報告する。ただし、不備・欠陥部分がある場合は、速やかに防火管理者に報告する。
- (2) 防火管理者は、報告された内容で不備・欠陥部分がある場合は、管理権原者に報告し改修しなければならない。
- (3) 防火管理者は、不備・欠陥部分の改修及び予算措置に時間のかかるものについては、管理権原者の指示を受け、改修計画を策定する。

### 5 その他

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## 第5 厳守事項

### I 従業員等が守るべき事項

- (1) \_\_\_\_\_は、避難口、廊下、階段などの避難施設と防火戸、防火シャッターなどの防火設備が有効に機能するように次の事項を行わなければならない。

ア \_\_\_\_\_

イ 階段等への出入口に設けられている扉の開閉（熱・煙等により自動的に閉まる扉を含む。）を妨げるように物品が置いてある場合は、直ちに除去する。

ウ \_\_\_\_\_

エ 上記において物品を容易に除去できない場合は、直ちに防火管理者に報告する。

オ その他

---

---

---

---

---

---

---

---

### (2) 火気管理等

ア 喫煙管理について常に注意し、火気使用設備等の自主検査と合わせて、終業時等に全員が吸い殻の点検を行う。

イ 喫煙は指定された場所で行い、歩行中の喫煙は絶対に行わない。

ウ 火気使用設備等は、使用する前後に点検を行い、安全を確認する。

エ 火気使用設備等は指定された場所で使用する。

オ 燃焼器具等を使用する場合は、周囲を整理整頓するとともに、可燃物に接近して使用しない。

カ 危険物品は、持ち込まない、持ち込ませない。

キ その他

---

---

---

---

---

(3) 放火防止対策

- ア 死角となる廊下、階段室、トイレ等に可燃物を置かない。
  - イ 物置、空室、雑品倉庫等の施錠を行う。
  - ウ 建物内外の整理整頓を行う。
  - エ トイレ、洗面所の巡視を定期又は不定期に行う。
  - オ 火元責任者又は最終帰宅者による火気及び施錠の確認を行う。
  - カ その他
- 
- 
- 

2 防火管理者等が守るべき事項

(1) 収容人員の管理

---

---

---

---

(2) 工事中の安全対策の策定

- ア 防火管理者は、工事を行うときは、工事中の安全対策を策定する。
    - また、次に掲げる事項の工事を行うときは、消防機関に相談し必要に応じて工事中の消防計画の届出を行う。
  - (ア) 増築等で建築基準法第7条の6及び第18条第24項に基づき特定行政庁等に仮使用申請をしたとき
  - (イ) 消防用設備等・特殊消防用設備等の増設等の工事に伴い、当該設備の機能を停止させるとき又は機能に著しく影響を及ぼすとき
  - イ 工事人等の遵守事項
    - 防火管理者は、工事人に対し、次の事項を周知し遵守させる。
  - (ア) 溶接・溶断など火気を使用して工事を行う場合は、消火器等を準備して消火できる体制を確保すること。
  - (イ) 工事を行う者は、防火管理者が指定した場所以外では、喫煙、火気の使用等を行わないこと。
  - (ウ) 工事場所ごとに火気取扱責任者を指定し、工事の状況について、定期的に防火管理者に報告させること。
  - (エ) 危険物等を持ち込む場合は、その都度、防火管理者の承認を受けること。
  - (オ) 放火を防止するために、資器材等の整理整頓をすること。
  - (カ) その他
-





(3) 避難誘導

- ア 避難誘導担当は、避難経路図に基づいて、避難誘導する。
- イ \_\_\_\_\_を使用して落ち着いて行動するよう誘導する。
- ウ 避難方向が分かりにくいときは、曲がり角などに誘導員が立って、誘導する。
- エ 避難誘導担当は、負傷者及び逃げ遅れた者の確認を行い、自衛消防隊長に報告する。
- オ その他 \_\_\_\_\_

(4) 安全防護

- ア 逃げ遅れた者がいないことを確認した後、防火戸や防火シャッターを閉鎖する。
- イ その他 \_\_\_\_\_

(5) 応急救護

- ア 応急救護担当は、負傷者の応急手当を行い、救急隊と連絡を密にして、負傷者を速やかに運ぶことができるようにする。
- イ 応急救護担当は、負傷者の氏名、負傷程度など必要事項を記録する。
- ウ その他 \_\_\_\_\_

(6) 救出、救護

- 応急救護担当は、地震時において前(5)の任務のほか、次の活動を行う。
- ア 倒壊現場付近では、消火器、水バケツ等を用意し、不測の事態に備える。
  - イ 救出の優先順位は、人命への危険が切迫している者からとし、多数の要救助者がいる場合は、救出作業が容易な人を優先する。
  - ウ その他 \_\_\_\_\_

3 自衛消防隊の活動範囲

- (1) 自衛消防隊の活動範囲は、当該事業所の管理範囲内とする。
- (2) 近接する建物等からの火災で延焼を阻止する必要がある場合は、設置されている消防用設備等を有効に活用できる範囲で、自衛消防隊長の判断に基づき活動する。
- (3) その他 \_\_\_\_\_

4 その他

\_\_\_\_\_

## 第7 休日、夜間の防火管理体制

緊急連絡先 \_\_\_\_\_

### 1 休日、夜間に在館者がいる場合

#### (1) 休日、夜間の防火管理体制

休日、夜間の勤務者は、定期的に巡回する等火災予防上の安全を確保する。

#### (2) 休日、夜間における自衛消防活動

休日、夜間における自衛消防活動は、勤務している者など建物内にいる者全員で次の初動措置を行う。

##### ア 通報連絡

火災が発生したときは、直ちに消防機関に通報するとともに、他の勤務者に火災の発生を知らせ、さらに緊急連絡一覧表により関係者に速やかに連絡すること。

##### イ 初期消火

全員が協力して、\_\_\_\_\_を有効に活用し適切な初期消火を行うとともに防火戸などの閉鎖を行うこと。

##### ウ 避難誘導

工事、点検等のため入館者がある場合は、\_\_\_\_\_を使用して火災を知らせ、避難方向等を指示すること。

##### エ 消防隊への情報提供等

消防隊に対し、火災発見の状況、延焼状況等の情報及び資料等を速やかに提供するとともに、出火場所への誘導を行うこと。

##### オ その他

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

### 2 休日、夜間に無人となる場合

休日、夜間において無人となる場合は、\_\_\_\_\_からの通報により、火災発生等の連絡を受けた防火管理者等は、直ちに現場に駆けつける。

## 第8 地震対策

### 1 日常の地震対策

(1) 地震対策を実施する責任者は、 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_とする。

(2) 地震時の災害を予防するため、次の事項を実施する。

ア ロッカー、自動販売機等の転倒・移動防止措置を行う。

イ 窓ガラスの飛散防止措置及び看板、広告塔等の倒壊、落下及び転倒防止措置を行う。

ウ 火気使用設備等からの出火防止措置を行う。

エ 危険物等の流出、漏えい防止措置を行う。

オ その他

(3) 地震時の非常用物品等を確保し、有事に備えるとともに、定期的に点検整備を実施する。

備蓄品目	備蓄場所

### 2 地震後の安全措置

(1) 地震発生直後は、身の安全を守ることを第一とする。

(2) 出火防止

ア 火気使用設備等の直近にいる従業員は、元栓・器具栓を閉止又は電源遮断を行い、各火元責任者はその状況を確認する。

イ その他

(3) 出火状況の確認、けが人の発生状況を確認する。

(4) 地震動終了後、防火担当責任者等は、二次災害の発生を防止するため、建物、火気使用設備等及び危険物施設等について点検・検査を実施し、異常が認められた場合は応急措置を行う。

(5) 各設備等は、安全を確認した後、使用する。

(6) その他

### 3 地震時の活動

地震時の活動は、前記「自衛消防活動」によるほか、次の事項について行う。

#### (1) 情報収集等

通報連絡担当は、次のことを行う。

- ア テレビ、ラジオ、インターネットなどにより、情報の収集を行う。
  - イ 混乱防止を図るため、必要な情報は店内にいる在館者に知らせる。
  - ウ その他
- 

#### (2) 救出、救護

ア 救出、救護活動にあたっては、応急救護班を中心とし、他の自衛消防隊員も活用して実施する。

イ 負傷者が発生した場合は、応急手当を行うとともに、地震時の被害状況により緊急を要するときは、救護所、医療機関に搬送する。

ウ その他

---

---

---

#### (3) 避難誘導等

ア 各避難誘導担当は、在館者の混乱防止に努め、次のことを行う。

- (ア) \_\_\_\_\_を落ち着かせ、自衛消防隊長から避難命令があるまで、照明器具などの転倒・落下・移動に注意しながら、安全な場所で待機させる。
  - (イ) \_\_\_\_\_を広域避難場所に誘導するときは、広域避難場所（\_\_\_\_\_）までの順路、道路状況、地域の被害状況について、説明する。
  - (ウ) 避難は、防災関係機関の避難命令又は自衛消防隊長の命令により行う。
  - (エ) 避難誘導は、\_\_\_\_\_の先頭と最後尾に避難誘導班員を配置して行う。
  - (オ) 避難には、車両等は使用せず全員徒歩とする。
  - (カ) その他
- 

イ 各安全防護担当は、避難通路に落下、倒壊した物品などで避難上支障となるものの除去を行う。

ウ その他

---

---

#### 4 その他

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

### 第9 防災教育

#### 1 防災教育の実施時期等

防災教育の実施対象者・実施時期・実施回数・実施者は、次表のとおりとする。

対象者	実施時期	実施回数	実施者		
備考	○印は、対象者に対する実施者を示す。				

#### 2 自衛消防隊員等の育成

##### (1) 自衛消防隊

管理権原者は、災害時において円滑に自衛消防活動を行うため、自衛消防隊の整備を図るとともに、自衛消防隊員の育成を推進するものとする。

---

---

---

---

---

### 3 防災教育の内容及び実施方法

(1) 防災教育の内容は実施者の任務分担を定め、おおむね次の項目について教育する。

ア 消防計画について

(ア) \_\_\_\_\_が守るべき事項について

(イ) 火災発生時の対応及び地震時の対応について

イ その他火災予防上必要な事項

---

---

(2) 防災教育の実施方法

ア 新入社員等採用時の研修期間中に実施する。

イ 毎日の朝礼時又は就業時に合わせて実施する。

ウ その他

---

---

(3) その他

---

---

---

---

---

---

---

---

### 4 防火管理再講習

(1) 防火管理者は、選任された日の4年前までに甲種防火管理新規講習又は再講習を修了している場合は、選任されてから1年以内に、それ以外の場合は、甲種防火管理新規講習又は再講習を修了した日以後の最初の4月1日から5年以内に甲種防火管理再講習を受講する。

(2) 管理権原者は、(1)の受講に際して、必要な措置を講じる。

## 第10 訓練

### 1 訓練の実施時期等

- (1) 訓練の種別・実施時期・実施回数は、次表のとおりとする。

訓練の種別	実施時期	備考
消火訓練	___月・___月	・別記1により、実施する。 ・その他の訓練は、安全防護訓練、応急救護訓練及び地震想定訓練を実施する。 ・総合訓練は、大規模地震を想定した訓練も合わせ実施する。
通報訓練	___月・___月	
避難訓練	___月・___月	
その他の訓練	___月・___月	
総合訓練	___月・___月	

- (2) 訓練の実施時期に合わせ、想定した部分訓練を年\_\_\_回以上、総合訓練を年\_\_\_回以上実施するものとする。

- (3) 防火管理者は、訓練指導者を指定して、訓練の実施に当たらせる。

- (4) 訓練の参加者

ア 自衛消防隊員

イ \_\_\_\_\_、パート、アルバイト（ローテーションを組み全員が参加できるようにする。）

- (5) 防火管理者は、訓練を実施する場合には、あらかじめ「自衛消防訓練通知書」により、消防機関に通知する。

### 2 訓練時の安全対策

訓練指導者は\_\_\_\_\_とし、訓練時における自衛消防隊員の事故防止等を図るため、次の安全管理を実施する。

- (1) 訓練実施前

ア 訓練に使用する施設、資器材及び設備等は、必ず事前に点検を実施する。

イ その他 \_\_\_\_\_

- (2) 訓練実施時

ア 訓練実施時において、使用資器材及び訓練施設等に異常を認めた場合は、直ちに訓練を中止するとともに必要な措置等を講じること。

イ \_\_\_\_\_

- (3) 訓練終了後

使用資器材収納時には、手袋・ヘルメットを着装させるなど十分に安全を確保させる。

### 3 訓練の実施結果

- (1) 防火管理者は、別表9「自衛消防訓練結果記録」により、訓練結果を検証し、当該検証

結果を次回の訓練に反映させるとともに、当該結果記録を防火管理維持台帳に3年間保管する。

(2) その他 \_\_\_\_\_

附 則

この計画は、\_\_\_\_\_年 月 日から施行する。

別表Ⅰ 日常の火災予防の担当者と日常の注意事項

防 火 管 理 者			役職・氏名				
防火担当責任者		火元責任者		防火担当責任者		火元責任者	
担当区域	氏 名	担当区域	氏 名	担当区域	氏 名	担当区域	氏 名
<b>担 当 者 の 任 務</b>							
防火管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該施設の防火管理業務の統括責任者</li> <li>・防火担当責任者と火元責任者に対し指導監督を行う。</li> </ul>						
防火担当責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当区域の火災予防について責任を持つとともに、火元責任者に対し指導監督を行う。</li> <li>・防火管理者の補佐を行う。</li> </ul>						
火元責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当区域の火災予防について、「自主検査チェック表」などに基つきチェックし、防火管理者に報告する。</li> </ul>						
<b>従 業 員 等 の 注 意 事 項</b>							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 消火器、屋内消火栓設備などが設置してある場所や階段、通路、出入口などの周辺には物品を置かないこと。</li> <li>2 防火戸の付近には、閉鎖の障害となる物品を置かないこと。</li> <li>3 火気使用設備器具の周辺は、きちんと整理整頓して、燃えるものを接して置かないこと。</li> <li>4 休憩室、事務室などから最後に出る人は、必ず火の始末をすること。</li> <li>5 従業員、職員等の喫煙は、指定された場所で行い、必ず吸い殻入れを用いて喫煙すること。</li> <li>6 死角となる廊下、階段室、トイレなどに燃えるものを置かないこと。</li> <li>7 危険物品等を使用するときは、防火管理者の承認を得ること。</li> <li>8 異常事態が発生したときは、必ず防火管理者に報告すること。</li> <li>9 喫煙場所などの吸い殻入れ、通路のごみ入れを確認するほか、吸い殻は不燃性の蓋付き水入り容器に入れるなどして処分すること。</li> <li>10 建物内外の整理整頓を行い、ごみや段ボール箱など燃えやすいものは、決められた時間以外は、外に出さないこと。</li> <li>11 電気、ガスなどの火気使用設備器具のスイッチを切り、各室の安全を確かめた後に施錠すること。</li> <li>12 火元責任者は、担当区域の火気の状況を責任を持って管理すること。</li> <li>13 その他</li> </ol>							
<hr/>							

別表2

## 自主検査チェック表（日常）「火気関係」

\_\_\_\_月

実施責任者					担当区域			
日	曜日	実施項目						
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								

(備考)不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。

良好=○ 不備・欠陥=× 即時改修=△

防火管理者 確認	
-------------	--

別表3

自主検査チェック表（日常）「閉鎖障害等」

実施責任者				担当範囲			
実施日時							
実施項目	確認箇所	チェック状況	チェック状況	チェック状況	チェック状況	チェック状況	チェック状況
避難障害							
閉鎖障害							
操作障害等							
備考							

(備考)不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。

良好=○ 不備・欠陥=× 即時改修=△

防火管理者  
確認

別表4

自主検査チェック表（定期）

実施項目		確認箇所	検査結果		
建物構造	基礎部	上部の構造体に影響を及ぼす沈下・傾き・ひび割れ・欠損等がないか。			
	柱・はり・壁・床	コンクリートに欠損・ひび割れ・脱落・風化等はないか。			
	天井	仕上材にはく落・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等がないか。			
	窓枠・サッシ・ガラス	窓枠・サッシ等には、ガラス等の落下又は枠自体の外れのおそれのある腐食、緩み、著しい変形等がないか。			
	外壁・ひさし・パラペット	貼石・タイル・モルタル等の仕上材に、はく落・落下のおそれのあるひび割れ・浮き上がり等が生じていないか。			
	屋外階段	各構成部材及びその結合部に、緩み・ひび割れ・腐食・劣化等はないか。			
	手すり	支柱が破損・腐食していないか。取付部に緩み・浮きがないか。			
	消防隊非常用進入口	表示されているか、また、進入障害はないか。			
防火施設	外壁の構造及び開口部等	<ul style="list-style-type: none"> <li>外壁の耐火構造等に損傷はないか。</li> <li>外壁の近く及び防火戸の内外に防火上支障となる可燃物の堆積及び避難の障害となる物品等を置いていないか。</li> <li>防火戸は円滑に開閉できるか。</li> </ul>			
	防火区画	<ul style="list-style-type: none"> <li>防火区画を構成する壁、天井に破損がないか。</li> <li>階段内に配管、ダクト、電気配線等が貫通していないか。</li> <li>自動閉鎖装置（ドアチェック等）付の防火戸等のくぐり戸が最後まで閉まるか。</li> <li>常時閉鎖式は最大限まで開放して閉まるのを確認する。</li> <li>煙感知器連動閉鎖式は、防火戸を止めているマグネット等を手動により外し、自動的に閉鎖するのを確認する。</li> <li>防火シャッターの降下スイッチを作動させ、シャッターが最後まで降下するか。</li> <li>防火戸・防火シャッターが閉鎖した状態で、隙間が生じていないか。</li> <li>防火ダンパーの作動状況は良いか。</li> </ul>			
避難施設	廊下・通路	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効幅員が確保されているか。</li> <li>避難上支障となる設備・機器等の障害物を設置していないか。</li> </ul>			
	階段	<ul style="list-style-type: none"> <li>手すりの取付部の緩みと手すり部分の破損がないか。</li> <li>階段室の内装は不燃材料になっているか。</li> <li>階段室に設備・機器等の障害物を設置していないか。</li> <li>非常用照明がバッテリーで点灯するか。</li> </ul>			
	避難階の避難口	<ul style="list-style-type: none"> <li>扉の開放方向は避難上支障ないか。</li> <li>避難扉の錠は内部から容易に開けられるか。</li> <li>避難階段等に通ずる出入口の幅は適切か。</li> <li>避難階段等に通ずる出入口・屋外への出入口の付近に障害物はないか。</li> </ul>			
火気使用設備器具	厨房設備(大型レンジ、フライヤー等) ガスこんろ 湯沸器等	<ul style="list-style-type: none"> <li>可燃物品からの保有距離は適正か。</li> <li>異常燃焼時に安全装置は適正に機能するか。</li> <li>ガス配管は亀裂、劣化、損傷していないか。</li> <li>油脂分を発生する器具の天蓋及びグリッドフィルターは清掃されているか。</li> <li>排気ダクトの排気能力は適正か、また、ダクトは清掃されているか。</li> <li>燃焼器具の周辺部に炭化しているところはないか。</li> </ul>			
	ガスストーブ 石油ストーブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動消火装置は適正に機能するか。</li> <li>火気周囲は整理整頓されているか。</li> </ul>			
電気設備	変電設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気主任技術者等の資格を有する者が検査を行っているか。</li> <li>変電設備の周囲に可燃物を置いていないか。</li> <li>変電設備に異音、過熱はないか。</li> </ul>			
	電気器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>タコ足の接続を行っていないか。</li> <li>許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。</li> </ul>			
危険物施設	少量危険物 貯蔵取扱所	<ul style="list-style-type: none"> <li>標識は掲げられているか。</li> <li>掲示板（類別・数量等）には、正しく記載されているか。</li> <li>換気設備は適正に機能しているか。</li> <li>容器の転倒・落下・移動防止措置はあるか。</li> <li>整理清掃状況は適正か。</li> <li>危険物の漏れ、あふれ、飛散はないか。</li> <li>屋内タンク、地下タンクの場合に、通気管のメッシュに亀裂等はないか。</li> </ul>			
	指定可燃物 貯蔵取扱所	<ul style="list-style-type: none"> <li>標識は掲げられているか。</li> <li>貯蔵取扱所周囲に火気はないか。</li> <li>整理整頓（集積）の状況は良いか。</li> </ul>			
検査実施者氏名		検査実施日	検査実施者氏名	検査実施日	防火管理者確認
構造関係 _____	_____	年 月 日	火気使用設備器具 _____	年 月 日	
防火関係 _____	_____	年 月 日	電気設備 _____	年 月 日	
避難関係 _____	_____	年 月 日	危険物施設 _____	年 月 日	

（備考） 不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。 良好＝○ 不備・欠陥＝× 即時改修＝△

別表5 消防用設備等・特殊消防用設備等自主点検チェック表

実施設備	確認箇所	点検結果
消火器 ( 年 月 日実施)	(1) 設置場所に置いてあるか。 (2) 消火薬剤の漏れ、変形、損傷、腐食等がないか。 (3) 安全栓が外れていないか。安全栓の封が脱落していないか。 (4) ホースに変形、損傷、劣化等がなく、内部に詰まりがないか。 (5) 圧力計が指示範囲内にあるか。	
屋内消火栓設備 泡消火設備(移動式) ( 年 月 日実施)	(1) 使用上の障害となる物品はないか。 (2) 消火栓扉は確実に開閉できるか。 (3) ホース、ノズルが接続され、変形、損傷はないか。 (4) 表示灯は点灯しているか。	
スプリンクラー設備 ( 年 月 日実施)	(1) 散水の障害はないか(例 物品の集積など)。 (2) 間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。 (3) 送水口の変形及び操作障害はないか。 (4) スプリンクラーのヘッドに漏れ、変形はないか。 (5) 制御弁は閉鎖されていないか。	
水噴霧消火設備 ( 年 月 日実施)	(1) 散水の障害はないか(例 物品の集積など)。 (2) 間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。 (3) 管、管継手に漏れ、変形はないか。	
泡消火設備(固定式) ( 年 月 日実施)	(1) 泡の分布を妨げる物がないか。 (2) 間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。 (3) 泡のヘッドに詰まり、変形はないか。	
不活性ガス消火設備 ハロゲン化物消火設備 粉末消火設備 ( 年 月 日実施)	(1) 起動装置又はその直近に防護区画の名称、取扱方法、保安上の注意事項等が明確に表示されているか(手動式起動装置)。 (2) 手動式起動装置の直近の見やすい箇所に「不活性ガス消火設備」「ハロゲン化物消火設備」「粉末消火設備」の表示が設けてあるか。 (3) スピーカー及びヘッドに変形、損傷、つぶれなどはないか。 (4) 貯蔵容器の設置場所に標識が設けてあるか。	
屋外消火栓設備 ( 年 月 日実施)	(1) 使用上の障害となる物品はないか。 (2) 消火栓扉の表面には、「消火栓」又は「ホース格納箱」と表示されているか。 (3) ホース、ノズルに変形、損傷はないか。	
動力消防ポンプ設備 ( 年 月 日実施)	(1) 常置場所の周囲に、使用の障害となるような物がないか。 (2) 車台、ボディー等に割れ、曲がり及びボルトの緩みがないか。 (3) 管そう、ノズル、ストレーナー等に変形、損傷がないか。	
自動火災報知設備 ( 年 月 日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。 (2) 受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。 (3) 用途変更、間仕切り変更による未警戒部分がないか。 (4) 感知器の破損、変形、脱落はないか。	
ガス漏れ火災警報設備 ( 年 月 日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。 (2) 受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。 (3) 用途変更、間仕切り変更、ガス燃焼機器の設置場所の変更等による未警戒部分がないか。 (4) ガス漏れ検知器に変形、損傷、腐食等がないか。	
漏電火災警報器 ( 年 月 日実施)	(1) 電源表示灯は点灯しているか。 (2) 受信機の外形に変形、損傷、腐食等がなく、油煙、ホコリ、錆等で固着していないか。	
非常ベル ( 年 月 日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。 (2) 操作上障害となる物がないか。 (3) 押しボタンの保護板に破損、変形、損傷、脱落等がないか。	
放送設備 ( 年 月 日実施)	(1) 電源監視用の電源電圧計の指示が適正か、電源監視用の表示灯が正常に点灯しているか。 (2) 放送設備により、放送ができるかどうか。	
避難器具 ( 年 月 日実施)	(1) 避難に際し、容易に接近できるか。 (2) 格納場所の付近に物品等が置かれ、避難器具の所在が分かりにくくなっていないか。 (3) 開口部付近に書棚、展示台等が置かれ、開口部を塞いでいないか。 (4) 降下する際に障害となるものがなく、必要な広さが確保されているか。 (5) 標識に変形、脱落、汚損がないか。	
誘導灯 ( 年 月 日実施)	(1) 改装等により、設置位置が不適正になっていないか。 (2) 誘導灯の周囲には、間仕切り、衝立、ロッカー等があって、視認障害となっていないか。 (3) 外箱及び表示面は、変形、損傷、脱落、汚損等がなく、かつ適正な取り付け状態であるか。 (4) 不点灯、ちらつき等がないか。	
消防用水 ( 年 月 日実施)	(1) 周囲に樹木等使用上の障害となる物がないか。 (2) 道路から吸管投入口又は採水口までに消防自動車の進入通路が確保されているか。 (3) 地下式の防火水槽、池等は、水量が著しく減少していないか。	
連結散水設備 ( 年 月 日実施)	(1) 送水口の周囲は、消防自動車の接近に支障がないか、また、送水活動に障害となるものがないか。 (2) 送水口に変形、損傷、著しい腐食等がないか。 (3) 散水ヘッドの各部に変形、損傷等がないか。 (4) 散水ヘッドの周囲には、散水を妨げる広告物、棚等の障害物がないか。	
連結送水管 ( 年 月 日実施)	(1) 送水口の周囲は、消防自動車の接近に支障がないか。また、送水活動に障害となるものがないか。 (2) 送水口に変形、損傷、著しい腐食等がないか。 (3) 放水口の周囲には、ホースの接続や延長等の使用上の障害となる物がないか。 (4) 放水口を格納する箱は変形、損傷、腐食等がなく、扉の開閉に異常がないか。 (5) 表示灯は点灯しているか。	
非常コンセント設備 ( 年 月 日実施)	(1) 周囲に使用上障害となる物がないか。 (2) 保護箱は変形、損傷、腐食等がなく、容易に扉が開閉できるか。 (3) 表示灯は点灯しているか。	
検査実施者氏名	防火管理者確認	

(備考) 不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。 ○：良 ×：不備・欠陥 △：即時改修



別表7

## 自衛消防隊の編成と任務（その1 本部隊）

自衛消防隊本部長 _____（自衛消防隊に対する指揮、命令、監督等を行う。）		
自衛消防隊長 _____（自衛消防隊本部長が不在の場合は、その任務を代行する。）		
自衛消防副隊長 _____（隊長を補佐し、隊長が不在時は、その任務を代行する。）		
本部隊の編成		任 務
指 揮 班	_____ _____ _____ _____	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 隊長、副隊長の補佐</li> <li>2 自衛消防本部の設置</li> <li>3 地区隊への命令の伝達並びに情報の収集</li> <li>4 消防隊への情報の提供並びに災害現場への誘導</li> <li>5 その他指揮統制上必要な事項</li> </ol>
通報連絡班	_____ _____ _____	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 消防機関への通報並びに通報の確認</li> <li>2 館内への非常通報並びに指示命令の伝達</li> <li>3 関係者への連絡（緊急連絡一覧表による。）</li> </ol>
消 火 班	_____ _____ _____	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 出火階に直行し、屋内消火栓設備による消火作業に従事</li> <li>2 地区隊が行う消火作業への指揮指導</li> <li>3 消防隊との連携及び補佐</li> </ol>
避難誘導班	_____ _____ _____ _____	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 出火階並びに上層階に直行し、避難開始の指示命令の伝達</li> <li>2 非常口の開放並びに開放の確認</li> <li>3 避難上障害となる物品の除去</li> <li>4 逃げ遅れた者の確認及び本部への報告</li> <li>5 ロープ等による警戒区域の設定</li> </ol>
安全防護班	_____ _____ _____ _____	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 火災発生地区へ直行し、防火シャッター、防火戸、防火ダンパー等の閉鎖</li> <li>2 非常電源の確保、ボイラー等危険物施設の供給運転停止</li> <li>3 エレベーター、エスカレーターの非常時の措置</li> </ol>
応急救護班	_____ _____ _____	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 応急救護所の設置</li> <li>2 負傷者の応急処置</li> <li>3 救急隊との連携、情報の提供</li> </ol>

## 自衛消防隊の編成と任務（その2 地区隊）

地区隊長（担当区域の初動措置の指揮体制を図るとともに自衛消防隊長（本部）への報告連絡を行う。）	
地区隊の編成（平常時）	
____階 地区隊長 _____	通報連絡担当 _____ 消火担当 _____ 避難誘導担当 _____ 安全防護担当 _____ 応急救護担当 _____
____階 地区隊長 _____	通報連絡担当 _____ 消火担当 _____ 避難誘導担当 _____ 安全防護担当 _____ 応急救護担当 _____
____階 地区隊長 _____	通報連絡担当 _____ 消火担当 _____ 避難誘導担当 _____ 安全防護担当 _____ 応急救護担当 _____
____階 地区隊長 _____	通報連絡担当 _____ 消火担当 _____ 避難誘導担当 _____ 安全防護担当 _____ 応急救護担当 _____
任 務	
通報連絡担当	防災センターへの通報及び隣接各室への連絡
消 火 担 当	消火器等による初期消火及び本部隊消火班の誘導
避 難 誘 導 担 当	出火時における避難者の誘導
安 全 防 護 担 当	水損防止、電気、ガス等の安全措置及び防火戸、防火シャッターの操作
応 急 救 護 担 当	負傷者に対する応急処置

自衛消防隊の編成と任務（その3 本部隊と地区隊）

自衛消防隊長	_____	(自衛消防隊に対する指揮、命令、監督等を行う。)
自衛消防副隊長	_____	(隊長を補佐し、隊長が不在時は、その任務を代行する。)
地区隊長	_____	(担当区域の初動措置の指揮体制を図るとともに自衛消防隊長(本部)への報告連絡を行う。)
自 衛 消 防 隊 の 編 成 ( 平 常 時 )		
_____階	地区隊長 _____	連絡通報担当 _____ 初期消火担当 _____ 避難誘導担当 _____ 安全防護担当 _____ 応急救護担当 _____
_____階	地区隊長 _____	連絡通報担当 _____ 初期消火担当 _____ 避難誘導担当 _____ 安全防護担当 _____ 応急救護担当 _____
_____階	地区隊長 _____	連絡通報担当 _____ 初期消火担当 _____ 避難誘導担当 _____ 安全防護担当 _____ 応急救護担当 _____
_____階	地区隊長 _____	連絡通報担当 _____ 初期消火担当 _____ 避難誘導担当 _____ 安全防護担当 _____ 応急救護担当 _____
任 務		
通報連絡担当	消防機関への通報及び通報の確認、館内への非常放送並びに指示命令の伝達、関係者への連絡	
初期消火担当	出火場所への急行、消火器等による初期消火	
避難誘導担当	出火時における避難者の誘導、負傷者及び逃げ遅れた者の確認、非常口の開放並びに開放の確認と避難障害物品の除去	
安全防護担当	水損防止、電気、ガス等の安全措置及び防火戸、防火シャッターの操作	
応急救護担当	応急救護所の設置、負傷者に対する応急処置、救急隊との連携、情報の提供	

留意事項

- 1 自衛消防隊長は、管理権原者又はこれに準ずる者を指定し、自衛消防副隊長には防火管理者又は相当職の者を指定することが望まれます。消防機関に届出する消防計画には役職名などを記入します。
- 2 地区隊長は階ごとに、受持担当区域内の責任者と通報・消火・避難などの担当者を指定することが望ましく、消防機関に届出する消防計画には役職・係名・係担当者名などを記入します。  
なお、事務室等に掲出するものについては、担当者の氏名を記入し、転勤等で替わった場合は、速やかに訂正することが必要です。



## 別表9

## 自衛消防訓練結果記録

<input type="checkbox"/> 防火管理者 <input type="checkbox"/> 防災管理者							
防火対象物の所在地							
防火対象物名							
実施日時	年	月	日	時	分から	時	分まで
訓練種別	<input type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練 <input type="checkbox"/> 避難訓練 <input type="checkbox"/> その他（            ）						
訓練参加人員	人	消防の派遣	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
訓練の概要							
反省事項							
消防計画改善事項							

別表10

## 防火管理業務の一部委託状況表

( 年 月 日現在)

防火対象物名称				再受託者の有無
管理権原者氏名				<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 一部あり <input type="checkbox"/> 全部
防火管理者氏名				
受託者の氏名及び住所等				
[法人にあっては名称及び主たる事務所の所在地]				受託者が再委託する場合は記入
氏名(名称) 住所(所在地) 電話番号 担当事務所(所在地)				
電話番号 [教育担当者職・氏名]				
[講習等種別・修了番号] [教育計画]				
受託者の行う防火管理業務の範囲及び方法	常駐方式	範囲	<input type="checkbox"/> 火気使用箇所の点検監視業務 <input type="checkbox"/> 避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理 <input type="checkbox"/> 火災が発生した場合の初動措置 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 通報連絡 <input type="checkbox"/> 避難誘導 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 周囲の可燃物の管理 <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 通報連絡 <input type="checkbox"/> 避難誘導 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> その他( )
		方法	常駐場所 常駐人員 委託する防火対象物の区域 委託する時間帯	
	巡回方式	範囲	<input type="checkbox"/> 巡回による火気使用箇所の点検等監視業務 <input type="checkbox"/> 火災が発生した場合の初動措置 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 通報連絡 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 通報連絡 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> その他( )
		方法	巡回回数 巡回人員 委託する防火対象物の区域 委託する時間帯	
	遠隔移報方式	範囲	<input type="checkbox"/> 火災異常の遠隔監視及び現場確認業務 <input type="checkbox"/> 火災が発生した場合の初動措置 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 通報連絡 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 通報連絡 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> その他( )
		方法	現場確認要員の待機場所 到着所要時間 委託する防火対象物の区域 委託する時間帯	

(備考)「受託者の行う防火管理業務の範囲」については、該当する項目の□にレ印を付すこと。

別記 I

訓練の実施要領

実施項目		実 施 内 容
消 火 訓 練	想 定	
通 報 訓 練		

避難訓練	想定	
安全防護訓練	想定	

応急 救護 訓練	想 定	
地震 想定 訓練	想 定	
	想 定	

総 合 訓 練		

1 暗号放送文

2 一般向け放送文例

【火災発生時】

【地震発生時】

別図 I

## 避難経路図

---

